

# データを統合してあらゆる領域で コマンド & コントロールを実現

すべての米国政府機関が  
Red Hat を選択しています<sup>1</sup>

## 選択的ターゲット設定から動的ターゲット設定への進化

米国国防総省 (DoD) は、距離、水域、空間、時間に関する課題に阻害されることなく、敵対勢力への防衛を行う必要があります。敵対勢力による脅威は増加および巧妙化しており、その抑止と制圧のためには選択的ターゲット設定から動的ターゲット設定へと根本的に転換する必要があります。

動的ターゲット設定モデルは収束イベントの発見、修正、追跡の各要素に焦点を当てていて、意思決定に役立つ情報を得るためには軍務に適した質のデータが必要です。動的ターゲット設定へと転換するには、DoD の情報、監視、偵察 (ISR) およびコマンド & コントロール (C2) に使用している軍務用システムの圧縮と融合が欠かせません。このアプローチは、システムで現代戦に適したスピードで大量のデータを収集、分析し、分析結果に基づいて行動に移すうえで役立ちます。

収集したデータは分類もインデックス化もされていないことが多いため、用途が限られてしまいます。これを有益な知見に変換して戦術面の優位性を補強するには、以下が必要になります。

Red Hat 製品は、DoD のコンポーネントが準拠する必要のある特定の政府標準規格 (FIPS 140-2、FIPS 140-3、コモンクライテリアなど) を満たすための認定を受けています。<sup>2</sup>

- ▶ 軍事担当地域 (AOR) の全体にわたる複数のトランスポート層について詳細に把握すること
- ▶ 全領域におけるデータの相互運用性を阻害する障壁の除去を担当する、戦域に特化したデータガバナンス制御組織を作ること
- ▶ ハイブリッドなオンプレミス環境またはマルチクラウド環境に移行し、軍務用データの処理と作戦の継続性を確保すること。単一のクラウド戦略への依存は、作戦に対するリスクとなります。先日、ある大手クラウドプロバイダーで顧客のアカウント (バックアップストレージを含む) がクラウドから消去され、サービスを完全に修復するためのリカバリーに 2 週間近くかかりました<sup>3</sup>
- ▶ 軍務用ネットワークの多目的かつマルチテナントの戦術的エッジの自動拡張により、軍務の有効性と主要、代替、緊急、非常時 (PACE) 通信をサポートすること
- ▶ 包括的な分析ができるよう、複数のソースとコマンドにわたってデータを標準化すること

エッジコンピューティングと人工知能/機械学習 (AI/ML) は、データのオーケストレーションを強化して動的ターゲット設定の実現をサポートするにあたり、重要な役割を果たすことができます。

## データのオーケストレーションを強化し、移動する脅威に先回りして対応

Red Hat は、ISR データ環境を統合し、データのオーケストレーションを強化するための二重のアプローチを提案します。

<sup>1</sup> Red Hat の顧客のデータと Fortune 500 リスト、2023 年 9 月。

<sup>2</sup> 「[コンプライアンス活動と政府の標準規格](#)」、Red Hat、2024 年 4 月 16 日にアクセス。

<sup>3</sup> Amadeo, Ron. 「["Unprecedented" Google Cloud event wipes out customer account and its backups](#)」、ARS Technica、2024 年 5 月 17 日。

## Red Hat チームを活用

AOR のトランスポート層について高精度で把握し、AOR データ制御組織の構築と運用に役立てることができます。

## 技術的な PoC を実施

90 - 120 日間のスプリントで一連の技術的な実証を完了できます。最初の実証では、Title 10 ISR のデータと C2 のデータ (航空作戦センターからのデータなど) の融合と圧縮に焦点を当て、ハイブリッドなマルチクラウドのデータファブリック層を作成します。これらの実証では、収束イベントにおける発見、修正、追跡の各要素の改善をサポートします。それ以降の実証では、Title 50 のコンポーネントを含めるほか、複数のデータ層間で共有できるよう戦術的エッジの拡張とゼロトラスト原則を確立します。

その後、DoD で Red Hat® Device Edge などの柔軟なエッジ・プラットフォームを導入し、軍務用システムソリューションを実装できます。

## 戦場で決断の優位性を確保

[Red Hat Device Edge](#) は柔軟なプラットフォームであり、厳しい戦地のリソースに制約のある小規模デバイス (AOR のエッジにある人工衛星など) においてワークロードのデプロイと管理をサポートします。

また、Red Hat OpenShift® のエッジ機能から構築された軽量の Kubernetes コンテナ・オーケストレーション・ソリューションである MicroShift の DoD 対応ディストリビューションを提供します。さらに、Red Hat Enterprise Linux® と Red Hat Ansible® Automation Platform から構築されたエッジに最適化されたオペレーティング・システムを提供し、戦場からデータを取得する数百から数千のサイトとデバイスの Day 1 および Day 2 における一貫した管理を実現します。

Red Hat Device Edge は、以下によって DoD での決断の優位性 (decision dominance) と軍務の成功を支援します。

- ▶ 軍務用データを処理するためのハイブリッド環境またはマルチクラウド環境の実装
- ▶ 大量のワークロードの管理と分散
- ▶ 戦地のエッジデバイスから生じたデータの標準化
- ▶ 複数の領域にわたる重要なデータの同時統合
- ▶ 戦場におけるエッジ資産のレジリエンシー (回復力) の向上

Red Hat Device Edge を活用すれば、選択的ターゲット設定から動的ターゲット設定への転換を実現できます。

## イノベーションと一貫性およびセキュリティを両立させる

重要な軍務では、アジリティが成功の鍵となります。Red Hat の製品とサービスは、DoD でイノベーションに対応しつつ、相互運用性を確立し、すべての拠点と機関にわたって高いセキュリティポスチャを維持するのに役立ちます。また、Red Hat を使用したオープン・ハイブリッドクラウドのアプローチは、DoD のチームがクラウドとプロセスを接続するのに役立ちます。

DoD の技術的な課題への対処を支援する Red Hat の画期的な [ソリューション](#) をご覧ください。



## Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

オーストラリア  
1800 733 428

インド  
+91 22 3987 8888

インドネシア  
001 803 440 224

日本  
03 4590 7472

韓国  
080 708 0880

マレーシア  
1800 812 678

ニュージーランド  
0800 450 503

シンガポール  
800 448 1430

中国  
800 810 2100

香港  
800 901 222

台湾  
0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan  
X twitter.com/RedHatJapan  
in linkedin.com/company/red-hat